



長嶺地域
コミュニティ協議会だより

防災の学び



10月15日、自主防災訓練が行われました。万代長嶺小学校地域の皆さんが小学校に避難する想定で集まり、様々な防災に関する訓練を通して知識を深めました。万代長嶺小学校のこども達は、「ばんなが防災デー」とし、防災に関する授業の学習参観、引き渡し訓練、保護者と一緒に防災訓練を行いました、

自主防災訓練 自主防災訓練 自主防災訓練

段差を超えるには、
手足を使った
いくつかの工程が
必要でした。



車椅子

歩いている時、ひょいと超えられる段差も、車椅子になるとそうはいきません。介助者はいくつかの工程を経て、ようやく段差の上り下りができるのです。乗っている人に声を掛け、車椅子後方のステップを踏み、前輪を上げ、後輪を押して段差を上る。下る時は後ろ向きで。力任せではなく、ちゃんとした工程を踏む事で安全に上り下り出来るのです。

消火器



消火器での的当て。
簡単そうで難しい。

消火器の使い方を消防団の方々から教えていただきました。水を入れた消火器で的に向かって放水します。しっかり狙わないと的には当たりません。ホースを持つのを定め、レバーをしっかり握って放水。消火器の使い方も、火の出ているところへの狙い方も、体験しないとわからない事があるもんだと実感した訓練でした。

AED



大切なのは、助けるという勇気。
消防団の方々から学びました。

長嶺分団と万代分団の消防団の方々から、心臓マッサージやAEDの使い方を学びました。マッサージのリズムや、AEDの操作も大切なのですが、もっと大切なことは勇気です。声を出し、近くの人へ救急車を呼んでもらう。AEDを持ってきてもらう。自分一人ではなく、周りの人の協力を得て、この人を助けるんだ！という勇気が一番大切だと学びました。必要な知識があつてこそ、自信と勇気が湧いてくるんだろうと思います。毎年同じ訓練をすることで、繰り返しで身についたことが自信に繋がると仰っていました。

カセットコンロのガスって、
発電に使えるって知ってました？

災害時に電気が使えなくなることを想定し、非常用発電機の使い方訓練です。この発電機の燃料はカセットガスです。お使いになった事がある方も多いかと思いますが、ご家庭で鍋を囲む時などに使う、カセットコンロに入れるガスです。こどもの方でも簡単にエンジンを掛けられるカセットボンベ発電機の訓練で、実際にライトを点ける訓練を行いました。

発電機



避難スペース



スリッパにベット。
身近なもので簡単に作れます。

足を守るため、避難所で快適に過ごすため、スリッパは新聞紙で作れてしまいます。折り紙の要領で簡単に作れるのです。さらに、床の上で寝るのは身体が痛くなってしまいます。そこで、ダンボールでベットが作れるのです。避難所では家族で過ごすスペースは限られてしまいます。その広さや不便さを体験しました。



トイレが流せない時も
清潔な方法があります。

水道が止まってしまった時には、トイレを流す事ができません。そんな時は用を足したあと、凝固剤を使って固めて捨てる事ができます。簡易便座と一人用テントでトイレを作り、実際にポリ袋に水を入れて固めるまでの一連の流れを体験しました。簡単なやり方で、避難所でのトイレを清潔に保つ方法がありました。

簡易トイレ



<https://minekomi.sakura.ne.jp>

発行日：令和5年10月24日
発行責任者：会長 大竹順一
編集・発行：広報部 大竹透
この広報誌は新潟市地域活動補助金を受けて発行しました。